

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス めばえビオラ 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～	令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～	令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職場の風通しがよく、目標設定と支援の振り返り、活動プログラムの立案に支援者一人一人からの意見が聞けている。	・個々の職員がチームの一員であるという意識を持ち職場づくりに参加している。 ・お子様に楽しく通っていただけるように、プログラムの工夫をするようにしている	・効率的な業務遂行を行い、意見交換の時間確保を継続できるようにする。
2	相談や申し入れに対して、その都度職員間で共有し対応している。	・面談を行ったり、子育てや発達の相談に乗り、必要な情報提供を行っている。 ・保育園や幼稚園へ問い合わせを行ったり、情報交換に努めている。	・こちらから積極的に働きかけるなどして、保護者様から意見が出しやすいような環境を整える。
3	運動支援や製作活動で多種多様な活動を体験できる。また個別支援をする事で、個々の発達に応じた対応をしている。	・マンツーマンで対応する事によって、一人一人の成長を細かく把握する事が出来る。	・お子様の特性に合わせたトレーニングを考えたり、ソーシャルスキルを育む療育を導入していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会が不足している。	・事業所の営業時間内に保護者の方が集まる事が難しいため。	・季節ごとのイベントや保護者会など、保護者間の交流機会を増やし、相互サポート体制を強化していく。
2	環境整備の徹底が十分ではない。	・生活空間の構造化が十分ではない。 ・建物の構造上、バリアフリー化が困難である。	・パーティションなどを活用して、活動が交差しないようにしていく。 ・リスト化された項目に沿って、定期的に安全点検を行っていく
3	非常時の対応や方策が、保護者全員には周知されていない。	・事業所内だけで完結されていて、保護者の方々への説明に、時間が取れていない。	・保護者の方々への説明会や研修会を企画して、その中で改めて伝えていく。